保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ワンセグ AM/FM CDラジオ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RCR-T822K	品　番	07-8222	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-8222A

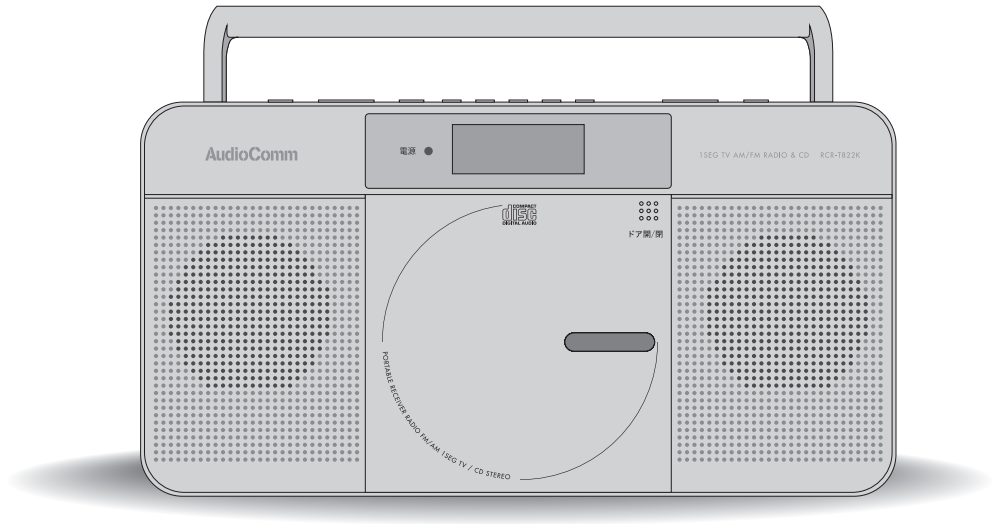
AudioComm®

取扱説明書

ワンセグ AM/FM CD ラジオ

型番 :RCR-T822K

保証書付



このたびは、**AudioComm®** ワンセグ AM/FM CD ラジオを
お買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”
また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目 次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1〜3
ご使用になる前に …… 4
電源について …… 5
各部の名称…… 6
電源のオン／オフ …… 7
時刻を設定する …… 7
ラジオを聴く …… 8〜9
ワンセグ放送を聴く …… 10
CDの音楽を聴く …… 11〜13
重低音…… 13
スリープ …… 13
アラーム …… 14
ヘッドホンで聴くときは …… 15
外部機器の音楽を聴く …… 15
故障かなと思ったら …… 16
主な仕様…… 17
お手入れのしかた …… 17
保証書とアフターサービスについて …… 18
保証書…… 裏表紙

免責事項

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は「感電注意」が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は「分解禁止」が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。）

⚠警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
コンセントから抜く	**万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
コードを交換する	**電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
水かけ禁止	**浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電の危険があります。
接触禁止 感電に注意	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない**
禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
電池に注意	**乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする** ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
禁止	**本製品を使用時は必ず付属の電源コード（ACコード）を使う。 また、付属の電源コード（ACコード）は絶対に他の製品には使用しない** ●付属の電源コード（ACコード）は本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

⚠注意

禁止	**調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

⚠注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	禁止	**CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない** ●レーザー光が目に当たると聴力障害を起こすおそれがあります。
音量は小さく	**電源を切る前に音量を最小にする** ●次回使用時に突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	アンテナに注意	**持ち運びするときは、アンテナをたたむ** ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
乾電池の電極性に注意	**乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	コンセントから抜く	**移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
禁止	**指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	指を挟まれないように注意	**お子様がCDドア内に手を入れないように注意する** ●けがの原因となることがあります。
コンセントから抜く	**お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。	音量に注意	**ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない** ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
ぬれ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。	掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
禁止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。		

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	⚠注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CDについて

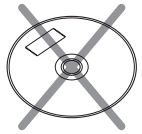
結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

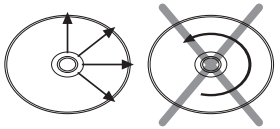
ディスク取扱上の注意点

◆再生面に触れないように持ってください。

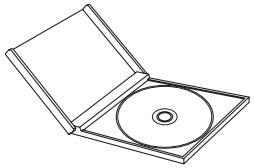
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



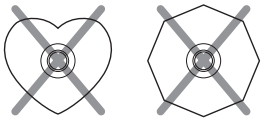
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



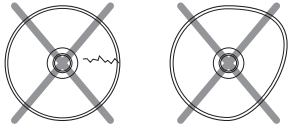
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

●本機は、CD-R／CD-RWなどに収録されたMP3などの圧縮ファイルの再生には対応しておりません。
●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。

注 意

●本機は、CD-R／CD-RWなどに収録されたMP3などの圧縮ファイルの再生には対応しておりません。
●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。

電源について

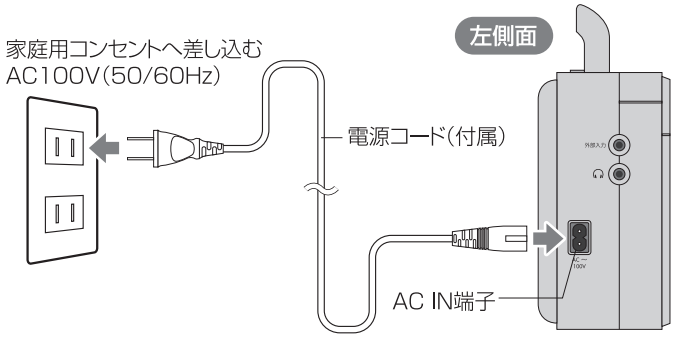
電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源／スリープボタンを押して電源を切ってから行ってください。

電源を切る前に音量を最小にしてください。次回電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用コンセントで使うには

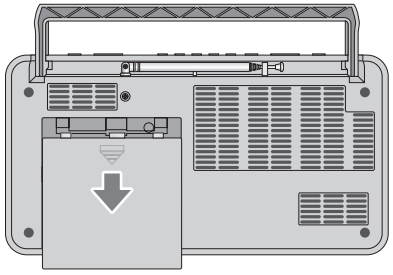
付属の電源コードを本機左側面にあるAC IN端子へ接続した後、家庭用コンセントへプラグを差し込んでください。

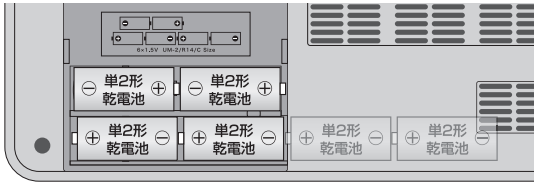
ご注意
付属の電源コードは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。



乾電池(別売)で使うには　※本体から電源コードを外してください

1. 電池ぶたの ▽ 部を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けてください(下図参照)。
2. 単2形乾電池6本(別売)を、本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
3. 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。


スライドさせて開ける



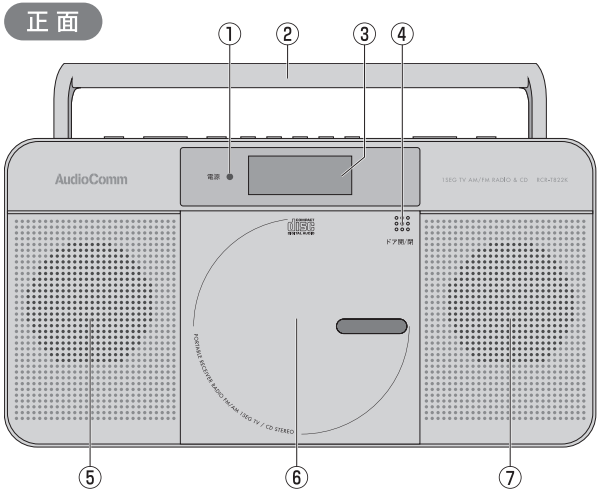
単2形乾電池6本(別売)

ご注意　種類の異なる乾電池や、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。液もれの原因になり、本機が故障する場合があります。

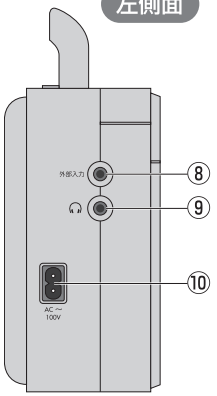
ヒント
- ●乾電池で使うときは、電源コードが本機裏側のAC IN端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。
- ●乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、動作が不安定になったり、雑音が多くなったりします。また、残量がごく僅かになるとディスプレイに ▭ マークが表示されます。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

各部の名称

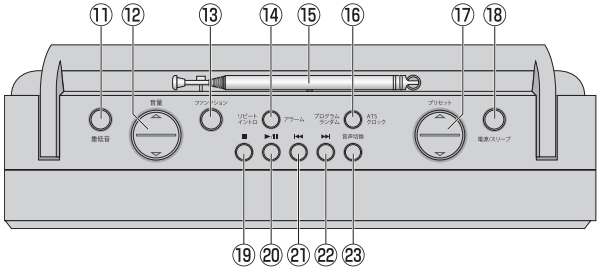
正面



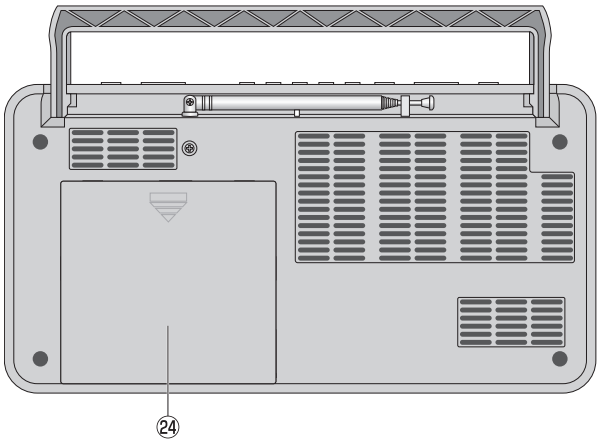
左側面



上面



背面



① 電源ランプ
② ハンドル
③ ディスプレイ
④ CDドア開閉部
⑤ 左スピーカー
⑥ CDドア
⑦ 右スピーカー
⑧ 外部音声入力端子
⑨ ヘッドホン端子
⑩ AC IN端子
⑪ 重低音ボタン
⑫ 音量ボタン(▲／▼)
⑬ ファンクションボタン
⑭ リピート／イントロ／アラームボタン
⑮ ロッドアンテナ
⑯ プログラム／ランダム／ATS ／時刻ボタン
⑰ プリセットボタン(▲／▼)
⑱ 電源／スリープボタン
⑲ 停止ボタン
⑳ 再生／一時停止ボタン
㉑ スキップ／選局ボタン(⏮)
㉒ スキップ／選局ボタン(⏭)
㉓ 音声切換ボタン
㉔ 電池ぶた

電源のオン／オフ

ヒント **初めてお使いになるときは…**

- ●電源コードを正しく接続するか、乾電池を正しく装着すると、電源ランプとバックライトが点灯し、ディスプレイに「12：00」が表示されます。約10秒後バックライトは消えますが、時刻表示はそのまま進みますので、下記の「時刻を設定する」を参照して、現在時刻を正しく設定してください。
- ●最初に電源を入れた際はワンセグ放送をテスト受信します（プリセット番号に受信可能な放送局が自動登録されます）。受信が始まらない、受信できない場合はP.10をご参照ください。また、ワンセグ放送が受信できた場合、時計は自動的に時刻設定されます。

電源/スリープ

電源を入れる 電源／スリープボタンを押すと、電源ランプが点灯し、電源が入ります。通常は前回使用していたファンクションが立ち上がります。

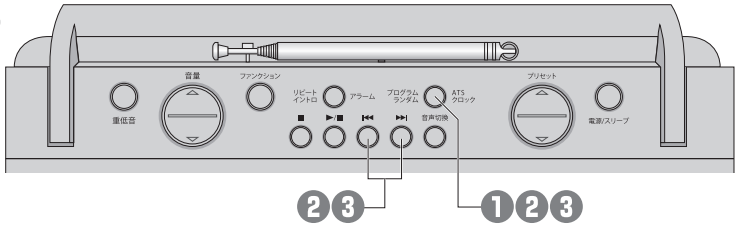
電源を切る

- ●本機を使用中に電源／スリープボタンを押すと、電源ランプが消灯して時刻表示に戻り、電源が切れます。バックライトは約10秒後に消灯します。
- ●電源が切れているときに何らかのボタンを押すと、バックライトが約10秒間点灯し、暗い場所でも時刻を確かめることができます。

時刻を設定する

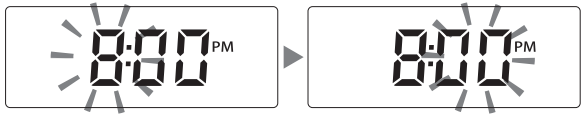
電源が切れている状態で操作してください。

上面



1. ディスプレイの「時」表示が点滅するまで、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを長押しします。

2. スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）で「時」を選び、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押します。



「時」の設定が確定すると「分」表示が点滅します。

3. スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）で「分」を選び、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押すと確定します。

時刻設定が確定すると点滅が止まります。

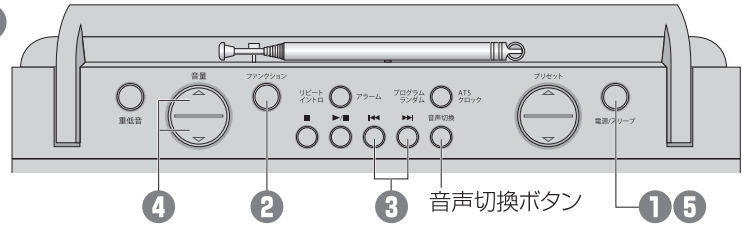
ヒント

- ●乾電池を取り外したり、乾電池未装着、または本体に電源コードを差したままの状態で電源プラグを抜くと、時刻の再設定が必要になります。リセットされた場合は再度設定してください。
- ●何も操作しない時間が約10秒間続くとバックライトが消灯します。
- ●ワンセグ放送が受信できる場合、放送信号から自動的に時刻調整が行われます。

ラジオを聴く

FM／AMラジオを最初にお使いのときは、ATS機能（P.9）が自動的に作動します。動作しない場合は以下をご参照ください。

上面



1. 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。

2. ファンクションボタンを押して、お聴きになりたいバンドを選びます。
ファンクションボタンを押すたびに、CD→TV→FM→AM→AUXの順でファンクションが切り換わります。

FM放送の画面例

AM放送の画面例

3. スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）を押してお聴きになりたい放送局に周波数を合わせます。

ステレオマーク
※音声切換ボタンにて（FMのみ）
受信レベルを表示します。
弱い ⟷ 強い

4. 音量ボタン（▲／▼）を押して音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。長時間大音量で聴き続けると、周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。

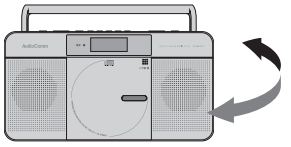
0～40の間で調節できます。音量は約2秒間表示されます。

5. 終了するときは電源／スリープボタンを押して電源を切ります。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



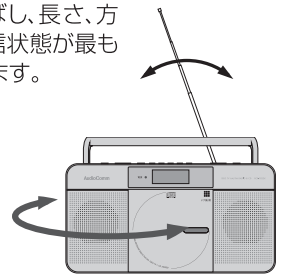
※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●ワンセグ・FM放送の受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

ご注意

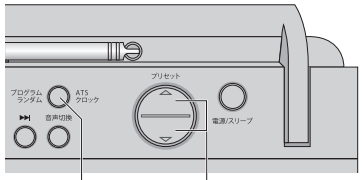
持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、ロッドアンテナを縮めた状態にしてください。



ヒント

- ●スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）を長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信した放送局で止まります。
- ●FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、ステレオマーク（∞）が表示されます。ノイズが多い場合などは、音声切換ボタンを押してモノラル受信に切り換えると軽減される場合があります（ステレオマーク消灯）。

プリセット登録



プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタン　　プリセットボタン(▲／▼)

●お使いのエリアで受信可能な放送局や、よく聴く放送局をプリセット登録しておくと、簡単に選局することができます。
●登録のしかたには、手動でお好みの放送局を登録する**手動メモリー**と、自動でスキャニングしながら一括登録するATSの2つがあります。
●ワンセグ、FM放送、AM放送で各最大19局まで登録可能です。

手動メモリー

1. プリセット登録したい放送局を受信している状態で、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押します。
   プリセットマーク(M)とプリセット番号が点滅します。

2. プリセットボタン(▲／▼)でプリセット番号を選び、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押します=登録完了

ATS(Auto Tuning System)

1. ファンクションボタンを押してプリセット登録したいバンド(ワンセグまたはFM ／ AM)を選びます。
2. プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを長押しします。
   ATSマークが点滅しながら、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局が順次登録されていきます。スキャニングが終了すると、プリセット番号：1の放送を受信します。ATSが自動で終了するまでは、他のボタン操作をしないでください。

登録された放送局数に応じて増えていきます。

ご注意
●手動メモリーにおいて何も操作しない時間が約8秒間続くと、設定がキャンセルされます。その際は最初からやり直してください。
●ATSを行うと、手動メモリーにて登録されたプリセット内容が上書きされます。また、ATSを行った後に手動メモリーにて同じ番号に登録した場合も上書きされますのでご注意ください。
●電源が遮断された状態が続いた場合、メモリーがクリアされる場合があります。

登録した放送局を選ぶには

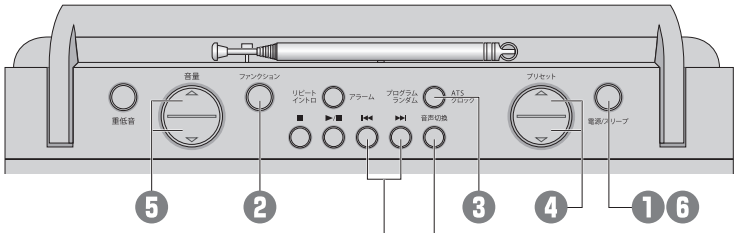
プリセット登録した放送局は、プリセットボタン(▲／▼)で選ぶことができます。プリセットモードから通常の周波数による選局方法に戻って選局するには、スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を押してください(プリセットマークとプリセット番号が消えます)。

プリセット番号と周波数を見ながら選局してください。いったんスキップ／選局ボタン(⏮／⏭)による選局をすると、プリセットマークとプリセット番号は表示されません。

ヒント
●FM放送はワイドバンド(76～108MHz)に対応しています。切換方法は、電源オフの状態にて、ファンクションボタンを押しながらプリセット▲ボタンを押してください。元に戻すときは、同じ操作を繰り返してください。切換後は、FMラジオの設定済みプリセットはクリアされます。

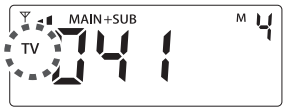
ワンセグ放送を聴く

上面

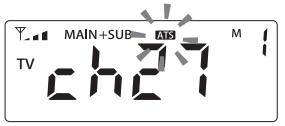


スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)　　音声切換ボタン

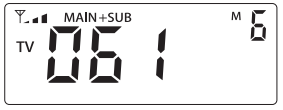
1. 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。
2. ファンクションボタンを押してTVを選びます。
   ファンクションボタンを押すたびに、CD→TV→FM→AM→AUXの順でファンクションが切り換わります。TVモードでは、チャンネルが表示されるまでに時間がかかる場合があります。



3. プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを長押ししてATSを行います。
   チャンネル番号が自動で送られ、お使いのエリアで受信可能な放送局をプリセット登録していきます。ATSが自動で終了するまでは、他のボタン操作をしないでください。
   ※手動設定は P.9参照



4. プリセットボタン(▲／▼)を押してお聴きになりたいチャンネルを選びます。



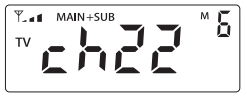
5. 音量ボタン(▲／▼)で音量を調節します。
   音量の上げすぎにご注意ください。長時間大音量で聴き続けると、周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。

0～40の間で調節できます。音量は約2秒間表示されます。

6. 終了するときは電源／スリープボタンを押して電源を切ります。

ヒント

1チャンネルずつ送るには：スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を押します。ただし、放送局のないチャンネルも含めて順に送られるため、選局に時間がかかります。

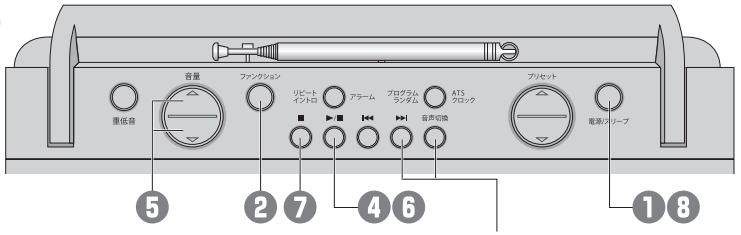


音声切換ボタンを押すと：MAIN(主音声)→SUB(副音声)→MAIN+SUB(混声出力)の順で音声出力を切り換えます。副音声がないときは、常に主音声を出力します。

●地上波デジタル放送では、各放送地域内にてチャンネル(ch)番号に対応した3桁の番号(例 031)がつけられています。プリセットボタン(⏮／⏭)で受信した場合はこの番号が表示されます。また、1つのチャンネル(ch)で複数の放送が行われている場合は、この3桁の下1桁の表示が異なります(例 032)。
●3桁のチャンネル番号は、放送地域によって別の番号になっています。隣接地域の放送局で同じ3桁番号になる場合は、放送局を区別するために、さらにもう1桁番号が附与(例0311)されます。最大3局まで受信可能です。
●お住まいの地域の放送局は、新聞番組欄などにてご確認ください。
●お住まいの地域以外にてご使用の際は、必要に応じてプログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを長押して、再度プリセット登録をし直してください。

CDの音楽を聴く

上面



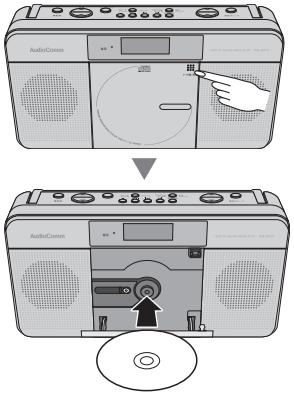
スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)

1 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。

2 ファンクションボタンを押してCDを選びます。
ファンクションボタンを押すたびに、CD→TV→FM→AM→AUXの順でファンクションが切り換わります。

ディスクチェック(「ーー」点滅)が行われ、CDが入っていない場合は「no」と表示されます。

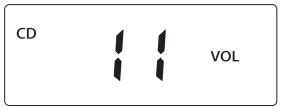
3 CDドア開閉部を押し込んでCDドアを開け、ディスクをセットします。
レーベル面(タイトルなどが印刷されている面)が手前になるようにセットしてください。セットし終えたら、CDドア開閉部をカチッと音がするまで押して、CDドアを閉めてください。



CDドアを閉めてしばらくすると総曲数が表示されます。

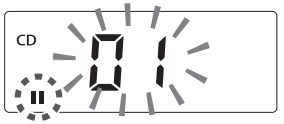
4 再生／一時停止ボタンを押します=再生開始
再生中はディスプレイに再生マーク(▶)と曲番号が表示されます。

5 音量ボタン(▲／▼)で音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。長時間大音量で聴き続けると、周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。



0～40の間で調節できます。音量は約2秒間表示されます。

6 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止します。
一時停止マーク(⏸)が表示され、曲番号が点滅します。もう一度押すと再生を再開します。



7 再生を止めるには停止ボタンを押します。
総曲数表示に戻ります。

8 終了するときは電源／スリープボタンを押して電源を切ります。

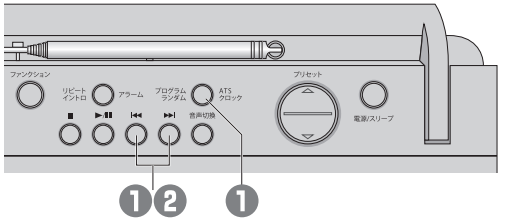
ヒント スキップ／選局ボタンについて

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップ／選局ボタン(⏭)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップ／選局ボタン(⏮)	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。

※早送り、早戻し中は小さな再生音が聴こえますので、それを参考にしながら操作してください。

プログラム再生

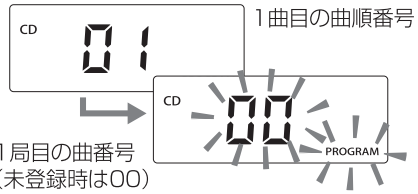
登録は停止中に操作してください。



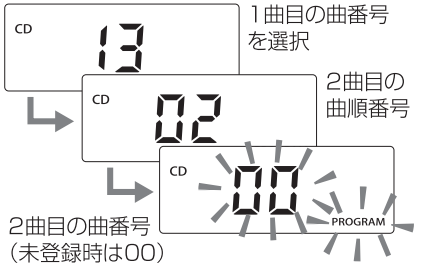
本機では、最大20曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。

ご注意 プログラム登録中に何も操作しない時間が約30秒間続くと設定がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。

1 停止中にプログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押します。
ディスプレイに「01」(曲順番号)が表示された後、すぐに「00」(曲番号)に変わり、点滅します(**PROGRAM**も点滅します)。



2 スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)ボタンを押して登録したい曲番号を選び、プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押します。
「02」(曲順番号)が表示された後、すぐに「00」(曲番号)に変わり、2番目の曲を選べる状態になります。



3 ステップ❷と同じ方法で2曲目以降を登録します(最大20曲まで)。

4 登録が終わったら再生／一時停止ボタンを押します=プログラム再生開始
プログラム再生中は**PROGRAM**が表示されます。

ヒント

プログラム内容を確認するには：プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押すたびに、1曲目から「曲順番号」→「曲番号」の順に登録内容を表示します。

プログラム内容を変更するには：上記の方法で変更したい曲順番号を呼び出し、スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)で曲番号を変更してプログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押してください。

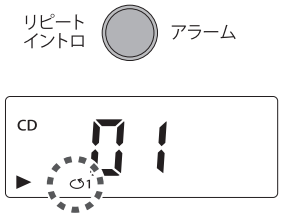
プログラムを削除するには：

- ●電源を切る、他のファンクションに移行する、CDドアを開けた場合は、プログラムが破棄されます。

※プログラム再生中に停止ボタンを押しても曲の順番は保持されています。プログラムボタンを押し、再生をすると最初のプログラム曲から再生が始まります。

リピート再生

再生中に操作してください。



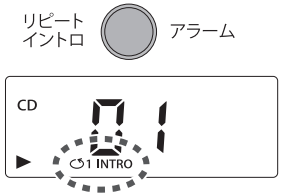
1曲リピート　再生中にリピート／イントロ／アラームボタンを1回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します（↻1が表示されます）。

全曲リピート　再生中にリピート／イントロ／アラームボタンを2回押すと、ディスク内の全曲を繰り返し再生します（ALL↻が表示されます）。

※リピート再生を解除するには、↻1やALL↻が消えるまで、リピート／イントロ／アラームボタンを数回押してください。

イントロ再生

停止中に操作してください。



停止中にリピート／イントロ／アラームボタンを押すと、最初の10秒ずつ各曲を再生する、イントロ再生が始まります（INTROが表示されます）。

※イントロ再生開始後にリピート／イントロ／アラームボタンを1回押すと、ディスプレイの表示が↻1 INTROとなり、聴いている曲を繰り返しイントロ再生します。もう1回押すとALL↻ INTROとなり、ディスク内全曲の繰り返しイントロ再生になります。イントロ再生をやめて通常の再生に戻るには、さらにもう1回リピート／イントロ／アラームボタンを押してください。

ランダム再生

再生中に操作してください。

再生中にプログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押すと、ディスク内の曲をランダムに再生します（RANDOM が表示されます）。

※ランダム再生を解除するには、もう一度プログラム／ランダム／ ATS ／時刻ボタンを押して RANDOM を消してください。

重低音

重低音ボタンを押すと重低音が強調された音質になります。
重低音機能が有効なときは、UBSマークが表示されます。
もう一度押すと通常の音質に戻ります。
※ご使用音量や各ファンクションにより効果は異なります。

スリープ

自動電源オフまでの時間を設定することができます。

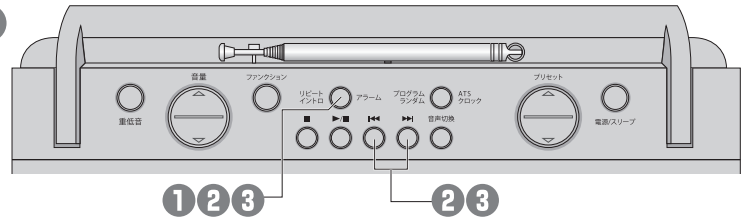
スリープを設定するには、電源／スリープボタンを長押しした後、さらに数回押して電源オフまでの時間を選んでください。

●スリープ設定時はスリープマーク（🛏）が点灯します。
●「90」から10分単位で「00」まで変化します。設定したい数字を表示させて約5秒間そのままにすると、設定が確定し、元の画面に戻ります。
●設定を解除するには、電源をオフにするかスリープ時間設定を「00」にしてください。

アラーム

本機では、お好みのファンクション（外部機器接続を除く）またはブザー音をアラーム音として設定できます。
アラーム設定は電源が切れている状態で操作してください。

上面

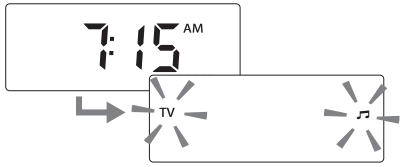


アラーム設定を始める前に、以下の内容をご確認ください。
●ラジオ／テレビをアラーム音として設定するときは：起動時に受信したい放送局を選局してください。最後に聴いていた放送局が立ち上がります。また、できるだけ良好な状態で受信できる場所にセットしてください。
●CDをアラーム音として設定するときは：ディスクを必ずセットしてください。未装着の場合はアラーム音が鳴りません。※ディスクの1曲目から再生されます。曲の選択はできません。

1 リピート／イントロ／アラームボタンを長押しします。
「時」表示が点滅します。

設定が終了するまで点滅を続けます。

2 スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）でアラーム起動時刻の「時」を選び、リピート／イントロ／アラームボタンを押します。同様に「分」も選び、リピート／イントロ／アラームボタンを押してください。
時刻設定が終わると、ファンクションマークと♫マークが点滅します。



3 スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）でアラーム音にしたいファンクションを選び、リピート／イントロ／アラームボタンを押します＝設定完了
CD、TV、FM、AM、bu（ブザー音）から選べます。設定が完了すると点滅が止まります。buを選んだときは代わりに🔔が表示されます。

※CDの場合は全曲リピートでの動作となります。

ヒント

アラームが鳴ったら：電源／スリープボタンを押して、アラームを切ってください。

ディスプレイに♫または🔔が表示されているときは：翌日の同時刻に再び起動します。アラーム設定を解除するときは、電源を切った後にリピート／イントロ／アラームボタンを押して、マークを消してください。

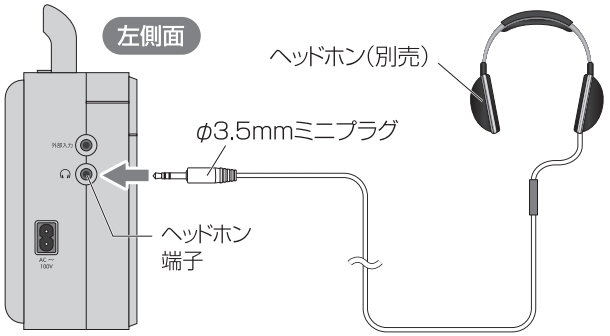
ご注意

アラーム起動後にそのまま放置すると、徐々に音が大きくなります（音量最大25まで）。不在時にアラーム設定を解除し忘れると周囲の迷惑になりますので十分ご注意ください（切られない場合、約1時間で止まります）。

ヘッドホンで聴くときは

別売のヘッドホン(φ3.5mmミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。

- ヘッドホンをご使用になるときは音量を上げすぎないようにご注意ください。長時間大音量で聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 付属の電源コードでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになるときがあります。その場合は乾電池にてご使用ください。



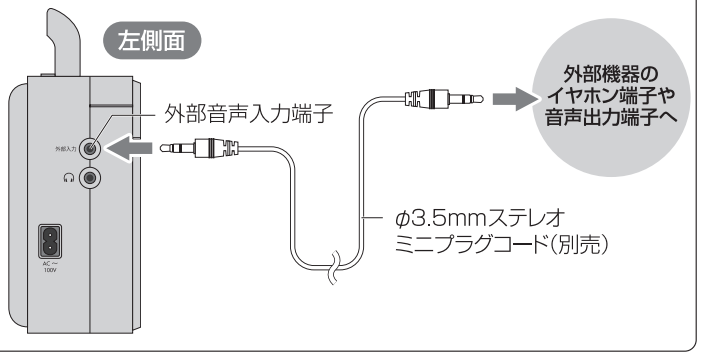
外部機器の音楽を聴く

携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどと接続して、外部機器の音楽を本機で楽しむことができます。

本機と外部機器の接続方法

ご注意

接続は本機および外部機器の電源が切れた状態で行ってください。



1. 上図を参照して正しく接続した後、電源／スリープボタンを押して電源を入れます。
2. ファンクションボタンを押して、AUXに合わせます。

3. 外部機器側で再生などの操作をします。
   音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。
4. 終了するときは電源／スリープボタンを押して電源を切ります。
   外部機器側の電源も切った後に接続を解除してください。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、点検・修理をご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源コードがはずれて(ゆるんで)いませんか。
	●乾電池が正しく入っていますか。
	●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。
	●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
	●異なるファンクションが選ばれていませんか。
CDが再生されない CDの音が飛ぶ	●ファンクションが正しく選ばれていますか。
	●ディスクが裏返しになっていませんか。
	●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。
	●レンズが結露もしくは汚れていませんか。
	●CDドアがしっかりと閉まっていますか。
	●音量が最小になっていませんか。
	●一時停止状態になっていませんか。
	●強い振動を与えていませんか。
	●不安定な場所に置いていませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 (携帯電話を本機から離して使用してください。)
	●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
ワンセグ放送を 受信できない	●ワンセグのサービスエリア外で使用していませんか。
	●電波の弱い場所で受信していませんか。
	●ATSを行いましたか。
	●音量が最小になっていませんか。
外部機器の音が出ない	●外部機器と本機が正しく接続されていますか。
	●外部機器と本機の電源が両方とも入っていますか。
	●本機側で正しくAuxが選ばれていますか。
	●外部機器または本機の音量が最小になっていませんか。
アラームが起動しない	●ディスプレイに♫または🔔マークが表示されていますか。
	●現在時刻及びアラーム時刻を正しく設定しましたか。AM・PMが間違っていませんか。
	●アラーム音を正しく設定しましたか。
	●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。

※工場出荷状態へ戻すには、ファンクションボタンを押しながら音声切換ボタンを押してください。時計表示が「12：00」になります。

主な仕様

電源	AC100V　50／60Hz
	DC9V　単2形乾電池×6本（別売）
消費電力	10W
最大出力	1W×2 (r.m.s)
スピーカー	口径70mm×2（インピーダンス：8Ω）
受信周波数	FM 76.0～90.0 ／ 108.0MHz切換式（ロッドアンテナ）
	AM 522～1629kHz（内蔵フェライトバーアンテナ）
	TV：UHF13～62ch（ロッドアンテナ）※1
出力端子	ヘッドホン端子　（φ3.5mmステレオミニプラグ）
入力端子	外部音声入力端子（φ3.5mmステレオミニプラグ）
乾電池による 連続使用可能時間の目安	ラジオ使用時　：アルカリ／約60時間　マンガン／約27時間
	ワンセグ使用時：アルカリ／約35時間　マンガン／約16時間
	CD使用時　　：アルカリ／約28時間　マンガン／約12時間
時計	月差±60秒　　ワンセグTV受信時自動調整機能付 月差±5秒
外形寸法	幅332mm×高さ175mm×奥行87mm（突起物含まず）
質量	約1650g（乾電池含まず）
付属品	電源コード、取扱説明書（保証書付）

※乾電池による連続使用可能時間の目安は使用状況により異なります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書の図版が一部製品と異なる場合があります。
※1 UHF53～62chは、2013年3月31日以降使用されておりません。

お手入れのしかた

●本体のクリーニング

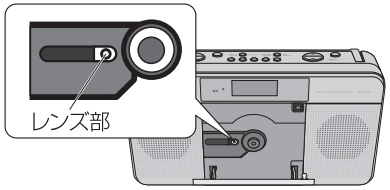
本体、スピーカー、リモコンの表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CDドアを開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー（エアスプレー）でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。